

次世代型の耐火塗料新製品「ナリファイア・ハイブリッドベースコート」の 国交省耐火認定取得、国内販売を開始 塗装工期の大幅な短縮を実現、塗膜の耐水性・耐震性を改善

三菱化工機株式会社（社長：高木 紀一、所在地：川崎市川崎区大川町2番1号）の関連会社である化工機商事株式会社（社長：伊藤 雅彦、所在地：川崎市川崎区大川町2番1号）は、同社が英国ナリファイア社から輸入販売する鉄骨用耐火塗料の次世代型新製品「ナリファイア・ハイブリッドベースコート」に関し、国土交通省より耐火被覆材として認定書を取得し、販売活動を開始しました。これにより、同社は、既に認定取得済みで施工販売している溶剤系耐火塗料及び水性系耐火塗料と合わせて、新たな次世代型耐火塗料製品が揃い、耐火塗料市場の活性化とシェア拡大を図ります。

[耐火塗料の機能と役割]

建築基準法では、火災から人命、財産を守るため、建築物の規模や構造に応じて、耐火・防火に対する基準が細かく規定されており、特に高層ビルなど大型建築物を支える鉄骨構造の柱や梁部分に耐火被覆材を施すことが義務付けられています。耐火塗料は、わずかに数ミリメートル程度の薄い塗膜が火災時に加熱発泡し、数十倍の厚みの断熱層に成長して、鉄骨の温度上昇を抑えます。他の耐火被覆と比較して、1/10以下の薄い塗膜であるため、意匠性を追求した建築・構造物への適用が可能な唯一の耐火被覆材です。

[ナリファイア・ハイブリッドベースコートの特長]

「ナリファイア・ハイブリッドベースコート」は、従来の溶剤系および水性系耐火塗料の様々な欠点を克服した次世代型の耐火塗料で、次の様な特長があります。

- ①1回塗りで厚膜の塗装が可能な速乾性の塗料のため施工期間が大幅に短縮できます。
- ②ウレタン樹脂系の弾性塗膜のため衝撃や曲げに強く、塗膜の耐震性が向上します。
- ③塗膜は、塗装完了から乾燥1時間後には降雨にも溶解せず耐水性があります。
- ④塗膜の損傷はワンタッチの補修キットで短時間に補修が可能です。
- ⑤低VOC含有率のため、環境負荷低減に配慮した塗料であり施工現場での作業環境が改善されます。
- ⑥現場での塗装の他に建設工期の短縮が可能となる鉄骨製作工場での耐火塗装も適応可能です。

[国交省耐火認定の取得状況]

「ナリファイア・ハイブリッドベースコート」でH形鋼梁の1時間耐火を取得しました。また、H形鋼柱の1時間および2時間耐火と角形鋼柱の1時間耐火試験にも合格しており、それぞれ耐火認定を申請中です。

[施工例]

国内では初めて、大阪の事務所ビルの内・外部の鉄骨用耐火被覆として採用されました。また、危険物エリアにあるプラント配管架構の鉄骨にも採用され、建築分野以外へも拡大しています。海外では、ナリファイア社が英国の耐火認定を取得し、メルボルン空港やグーグル英国事務所ビルなど約20例の施工実績があります。

[今後の販売計画]

化工機商事では、2020年開催の東京オリンピック向けの関連施設やホテル、商業ビル等の大型建築をターゲットとして、意匠性を追求する建築設計会社や工期短縮による費用削減や品質向上を目指すゼネコン各社に対し新製品「ナリファイア・ハイブリッドベースコート」を拡販し、5年後に年間20億円の売り上げを目指します。

お問い合わせ先

 三菱化工機株式会社 川崎市川崎区大川町2番1号 プラント営業部 広報担当

**次世代型の耐火塗料新製品「ナリファイア・ハイブリッドベースコート」の
国交省耐火認定取得、国内販売を開始
塗装工期の大幅な短縮を実現、塗膜の耐水性・耐震性を改善**

〔ナリファイア社について〕

ナリファイア社は、世界で最も歴史のある加熱発泡型の耐火材料でのトップメーカーです。長年の製造ノウハウの蓄積から画期的なハイブリッドベースコートを5年の歳月をかけて開発し、世界特許を取得しています。日本では化工機商事が独占輸入・販売し、ナリファイア社では欧州各国をはじめとし中東、東欧諸国やオーストラリア等世界各国に輸出しています。

製品内容につきましては、こちらにお問い合わせ下さい。

化工機商事株式会社 営業部高機能塗料グループ 電話 044-329-4460 Fax 044-366-6470



写真① 初実績の大阪地区事務所ビル



写真② ハイブリッドベースコートの外観



写真③ 現場塗装機



写真④ 工場用塗装機

お問い合わせ先

 **三菱化工機株式会社** 川崎市川崎区大川町2番1号 プラント営業部 広報担当

次世代型の耐火塗料新製品「ナリファイア・ハイブリッドベースコート」の
国交省耐火認定取得、国内販売を開始
塗装工期の大幅な短縮を実現、塗膜の耐水性・耐震性を改善



写真⑤ 鉄骨工場内での塗装状況



写真⑥ 工場から建築現場への輸送状況



写真⑦ 現場塗装の状況



写真⑧ 組み立て後の鋼材



写真⑨ 化学プラントの配管架構への塗装例

お問い合わせ先

三菱化工機株式会社 川崎市川崎区大川町2番1号 プラント営業部 広報担当